

年度評価シート

課名 中山間地振興課

施設の名称 賤機都市山村交流センター	指定管理者名 賤機都市山村交流センター運営委員会
<p>1 履行状況</p> <p>業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行されている。</p> <p>(1) 維持管理業務 管理業務を実施し、植栽、除草、清掃等について職員にて実施するとともに、空調設備点検業務等について第三者委託により実施し、各業務とも事業計画に従って、状況に応じて市と協議を行いながら適切に行われている。</p> <p>また、ペットボトル回収置き場について、雨天時であっても快適に利用してもらうことを目的に、市と協議のうえで屋根を取り付けるなど、利用者に配慮した修繕を実施している。</p> <p>(2) 施設利用者数 令和4年度の利用者数は 58,312 人で前年度（令和3年度）の 36,253 人と比較して 60.8%の増加となり、コロナ禍前に戻りつつある。</p> <p>(3) 事業実施状況 都市住民と中山間地域住民の交流の促進を図るために、各種講座、イベント、パネル展示等を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流講座等の実施 地域紹介講座「本格キムチづくり」「流木でキーフックづくり」等 農林業体験講座「山葵の収穫と苗植え」「初めての冬野菜づくり」等 地元講師による講座「里山のばあばの味」「ハーブの寄せ植え」等 ・イベントの開催 5月・8月・11月にわくわく祭りを開催した。 ・ロビーでの各種展示 「オクシズの花と風景写真展」、「安倍ごころに飛んできたアサギマダラ写真展」 「雨展」（静岡河川事務所）、「多文化共生展」（静岡市国際交流課）等 	
<p>2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）</p> <p>・休憩・散策等の一般入場者から日常的な物販についての質問を受けるが、当該施設では交流事業やイベントの実施を行っており、オクシズ地域の情報発信拠点である旨を説明し、理解を得ている。</p> <p>・公衆トイレについて、「和式だと使いづらい」といった声があったため、市と協議のうえ、洋式への取替修繕を行った。</p>	
<p>3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価</p>	

・施設の印象は「満足」「やや良満足」が100%、従業員の態度においても100%であり、良好な施設運営が継続して行われていることが分かる。

・利用者からは「トイレが綺麗。もちろん設備も掃除が行き届いている」といった声があった。

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務の収支状況については、物価高騰の影響を受けたものの、指定管理料の補填により、黒字となっている。

経理全般に関しては税理士事務所と提携しており、また、経理事務に関しては経理ソフトを活用して適正に行われている。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

オクシズ地域の玄関口に立地していることを意識した施設運営を行っており、オクシズの各地区と連携して、観光情報、祭りやイベント情報などを積極的に収集、発信している。

講座については、人気講座を継続して実施しつつ新規講座も複数行い、イベントについても創意工夫して実施し、施設の設置目的である都市住民と中山間地域住民の交流促進に努めており、施設運営は適切に行われたと考える。

今後も、オクシズの各地区と連携した運営により、施設の設置目的である都市住民と中山間地域住民の交流の促進を図られることを望む。

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。